



南小 学校通信

大泉町立南小学校 NO. 14 令和6年11月25日(月)

🍌 ワイルドナイツの選手を招いて～キャリア教育～

全教育活動を通して継続的に指導しているキャリア教育。その一環として、11月12日(火)3時間目に地元企業 Panasonicのラグビーチーム「ワイルドナイツ」の選手4名をお招きし、全校集会の形で交流会を実施しました。1年生から6年生まで学年を問わず選手に夢中になっていました。

はじめに、選手の自己紹介と各学年代表児童から選手への質問を行い、6つの質問に4人の選手がそれぞれ答えてくださいました。児童からの質問は以下の通りです。

- ラグビーの好きなどころ、楽しいところはどこですか。
- ラグビーを始めたきっかけと何歳の時からラグビーを始めたのですか。
- 1日どのくらい練習をしていますか。どのようにして体を鍛えていますか。
- 練習や試合で辛いとき、大変なときはどのように克服しているのですか。
- 試合をするとき、どんな気持ちで臨んでいますか。
- ラグビーをしていて、1番思い出に残っている試合など忘れられない出来事を教えてください。

夢を叶えてラグビー選手となった皆さんから、質問に答える形でいろいろなことを教えていただきました。その一部を紹介させていただきます。

- 体を鍛えるために朝昼晩3食食べて栄養をしっかりとっています。
- 練習で大変なことがあっても、やらない理由を考えず、やるべきことに最後までしっかり取り組みます。
- 失敗してもその悔しさをバネにして頑張ることで、いい結果につながります。
- 仲間との絆があるから、自信をもって思い切りプレーできます。

質問のあとは、選手のみなさんからラグビーの説明と実演がありました。6年生の代表児童が、パスやラインアウト、タックルを教えてくださいました。

(4時間目には5年生がタグラグビーを体験しました)

キャリア教育は、単に仕事や働くことについて勉強するだけではなく、子どもたちが自分らしい生き方を実現するために必要な能力・態度を育む教育でもあります。社会で必要な力(あいさつをはじめとするコミュニケーション能力、目標達成に向けて取り組む計画性、粘り強さなど)を身につけたり、将来と学業を結びつけ学習意欲を高めたりするために、毎日の学校生活の中で意識し、継続的に取り組んでいます。



ラインアウトの実演
とても高く驚きました



選手にタックル!



積極的に子どもたちと関わり
コミュニケーションをとる選手